

◆事前説明 兼 販売契約書(保証内容)◆

【空輸及び送犬時のご注意】

子犬にとって、移動、環境変化は大変ストレスを与える場合があります。

空輸の際は、飛行機の中の気温がかなり低温、
または高温になる場合もあるようです。

環境の変化により、体調不良になる場合もあります。
空輸及び送犬時に以下のような症状が出る場合もありますし、
万が一の事もあります。

その場合、当方では一切の責任を負いかねますので予めご了承くださいませ。

1. 便が柔らかくなる
2. 食欲不振
3. くしゃみ鼻水など風邪気味の症状
4. 嘔吐など

上記の症状が出た場合、元気があり、熱がなければ、問題ないのです
もし、熱が39℃以上ある場合は、獣医にかかることをお勧めします。

【極小犬をお迎えになる飼い主様の心得】

ポメラニアンに限らず、**極小犬は通常サイズの子犬に比べて脆弱性である事**をご承ください。

極小タイプの子は神経質な方、完璧を求められる方には飼育は難しいです。**多少の事に動じない方であれば、何も問題なく楽しく育てる事が出来ると思います。**

サイズに関係なくお渡しする子犬には全て健康診断・検便(必要あらば駆虫)を施してからお引渡ししておりますが、移動と急激な環境の変化でそれまで見つからなかった虫や虫卵が稀に発見される場合がございます。環境の変化により 予測不可能な様々な症状を引き起こすケースもございます。

極小の子は特に予測不可能な症状を引き起こす事がある**かもしれない**と予め心得て置く必要があります。何も無いに越したことがないのですが、心の準備をされている方が何かの時に冷静に対応できると思います。

ポメラニアンショートタイプにはペコがあります。くれぐれも頭部の打撃に気をつけなければなりません。

おやつをもらえる事が嬉しくて、ジャンプして滑って横転 床に頭を打ち付けて脳震とうを起こしたケース

慌てて抱き上げて体をゆすってしまっ、そのまま死亡ということもあります。

落ち着いて、鼻にティッシュを近づけ 息をしているか、脈はあるか調べて人工呼吸をすれば助ける事ができます。または、遊ばせすぎにより低血糖を起こすケースもございます。特に低血糖などには十分に気をつけて頂きたいです。子犬は自分をコントロールできませんので、元気だと言って ケージから出して遊ばせすぎると、エネルギー切れを起こし倒れ、動かなくなります。その姿が、瀕死の状態に見えて 飼い主様もかなり動揺されますが、落ち着いて、ブドウ糖やオリゴ糖 ポカリスエットなど舐めさせる事で息を吹き返します。下痢や血便の原因である原虫(日和見感染)再発に関しましては再度、駆虫を実施して戴ければ簡単に落ちます。飼い主様側で日々 健康チェックを行っていただき、敏速に対処していただく必要がございます。拒食症の子もおります。フードをなかなか食べてくれない子がいます。

一日中 置き餌や、場合によっては詰め込み(フードをふやかして一口のお団子を作ってお口をこじ開けて入れる)など必要な子もいます。

またとても元気で興奮する子などに ごくごく稀にあるようですが、チワワなどに多いとも言われていますが興奮した時に脳圧が上がり、体がある程度成長するまでの間(生後5カ月くらいまでの間)、いつも元気なのにてんかんのように急に痙攣したり、倒れたりする子もおります。

数分で元通りになります。殆どが原因不明で、生後5カ月を過ぎたあたりから(個体差はありますが)安定してきて、症状が出なくなるというケースです。痙攣しているのを見て 慌てて病院へ駆け込んだ時にはケロツとしている事が殆どなのですが、心配性な方はいろいろ精密検査してもらったりするようです、でも診断結果は「原因不明 まだ小さいので分からない」と言われます。無意味に副作用のある強い薬を飲ませ、悪化させてしまう飼い主様もおります。そういう方には極小の子は不向きです。極小犬だからといって、皆がそうだと言う事ではありません。**ごくごく稀にそのような事例があるらしいと言う事を 予め知っておく事が大事だ**と思っています。上記を踏まえた上で、お迎えくださいますよう宜しくお願い致します。<()>

【生命保証について】

紹介販売の場合は、各ブリーダー様の補償内容となります。

当店でアフターフォローをさせて頂きます子犬についての生命保障は、以下の通りです。

(2009年11月25日追加変更)

当日受け取り時に確認し何か問題点を発見いたしましたときは、速やかにご報告願います。

仔犬の場合は伝染病の潜伏期間とされる時期、お引き渡し後一週間以内に伝染病が発生し万が一15日以内に死亡した場合は診断書を死亡後一週間以内に提出していただき、子犬の代金のみ返金となるか、同系列の仔犬をお渡しさせていただき保証と致します。

瑕疵担保責任として 譲渡後1年以内に隠れたる瑕疵が現出し、それが明らかに先天性のものであると2ヶ所の獣医で証明され、それが原因で死亡した場合 保証の対象とさせていただきます。

確実に先天性であるということを証明出来る専門機関のデータが必要です。

誤診を避ける意味で2ヶ所以上の獣医師による診断書提出をお願いします。

(一方は大学病院やそれに順ずる専門医 或いは当方の専属獣医での診断書とする)

保証は代犬の提供を行なうもので治療費の保証及び金銭による保証はされません。販売者は保障終了後も一カ月間、保証に関する調査権を有し、不正請求の事実が判明した時は代支給した犬の評価金額及びその調査・回収のために要した経費を飼育者に対し請求できるものとします。

※代犬の場合はお待ち頂くこととなります、代犬はお選び頂く事はできません。

生命保証に関して、以下の場合には除外されます。

○お客様のご都合で、生後60日前でワクチン接種をせずにお渡しした場合、

○脆弱性の子犬(極小の子犬)の説明を受け承諾の上 迎えた場合。

○お引き渡し前までに確認の取れる欠点につきましては、事前に報告させていただきますが、お引き渡し当日以降に発見された欠点(成長過程での咬み合わせが悪くなったアンダーショット・オーバーショット、デベソ、成犬時の予想サイズ、オスの陰嚢丸(片嚢丸)等についても生物という特性上変化はつきものですので保証対象外となります。

○お渡し後の環境変化に関係する(下痢、嘔吐、耳ダニの発生 夜泣きによる声かれ、咳き込み、肛門の腫れなど)治療費。

当犬舎の子犬はお引渡し前に必ず健康診断を行い、必要であれば駆虫等も行いまして、万全な状態になってからお引渡しをしています。

○飼育者の重大な過失、故意に基づく死亡

(移動直後の興奮状態にある子犬を寝かせない 抱いたり構ったりして疲れさせた

犬と接触させた ケージから出したり屋外に出した)などの場合 当然免疫や抗体が落ちる一因です。

一旦免疫が落ちた個体は些少の菌でも拾い易い体になってしまいますので、管理不足と見なします。

○伝染病予防ワクチンの接種を受けず、そのための死亡

○獣医師の治療を受けなかった場合の死亡

(独自の判断での治療、経過観察、低血糖症、食欲不振など)については発症時期、原因たる処が不明確な為)

○事故による死亡、逃亡、及び盗難。

(輸送手段を用いてのお引渡しにおける不具合も同様)

○保証請求に際して虚偽の申告があった場合

生命保証から除外される項目について

当方にて取扱致しております アイペットうちの子プラス(代理店経由のみ販売商品)30日間の健康保証にご加入いただく事で医療費のご負担を軽減することができます。この保険にご加入頂くと お渡し直後から30日間 最大100%医療費の保障となりますので、是非ご利用くださいませ。

夏の暑さに因る脱水、危険物による事故等くれぐれもご注意下さい。

第三者への譲渡はお断りします。手放す場合は、一度ご相談下さい。7ご相談無く譲渡されました時はいかなる理由があっても、一切の保証は受けられなくなりますのでご注意下さい。

事前説明および子犬の販売契約(保証内容)について承諾いたしました。

年 月 日(購入年月日)

住所

氏名

印

電話番号

犬種

子犬の生年月日

送犬の方法

子犬の代金(送料ワクチン抜き)

円